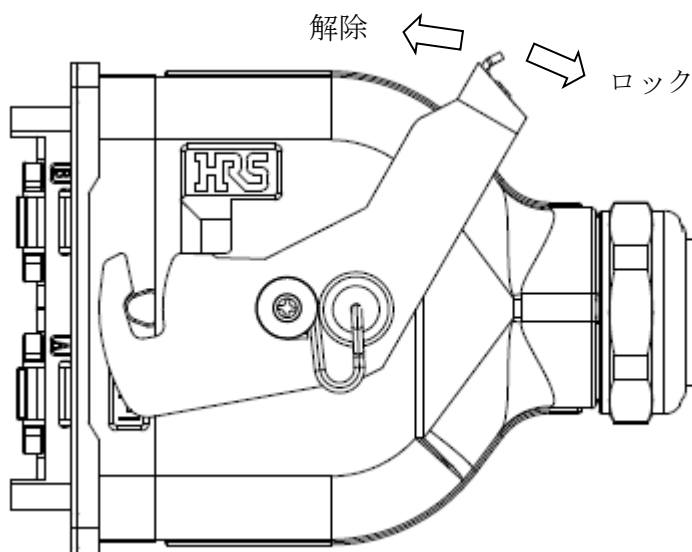


適用規格					
定 格	使用温度範囲	注1. -55℃ ～ 105℃	保存温度範囲	注2. -55℃ ～ 85℃	
	電 圧	AC 600V, DC 600V	使用湿度範囲	－ % ～ － %	
	電 流	19.0A /ピソ (AWG#14結線時)	適合ケーブル	AWG#14～AWG#22 (UL-STYLE:UL1007、UL1015)	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	100 mA (DC or 1000 Hz) 以下で測定する。	注3. 5mΩ 以下 (端子間)	○	－
			注3. 50mΩ 以下 (シェル間)	○	－
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	5000MΩ以上	○	－
	耐電圧	AC 3310Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	－
	温度上昇	ケーブル1芯に規定の電流を通電する。 AWG#14結線時 19.0 A/ピソ	周囲温度からの上昇値が30℃以下のこと。	○	－
機械的性 能	コソタ単体挿抜力	適合端子で測定する。	挿入力 3N 以下、抜去力 1.0N 以上	○	－
	コソタ 総合挿抜力	適合コネクタで測定する。 ロックバ一解除状態にて測定する。 (全端子結線時)	挿入力 150N 以下、抜去力 50N 以上	○	－
	端子固定力 (ランス固定強度)	ケーブル軸方向に25mm/minの速度で引張り 端子が抜けた時の荷重値を測定する。	68.6N 以上	○	－
	導体圧着部強度	下記ケーブルごとで導体部のみ圧着結線し、 引っ張り力を加えた時、保持力は規格値 以上のこと。 ① AWG#14 結線 ② AWG#16 結線 ③ AWG#18 結線 ④ AWG#20 結線 ⑤ AWG#22 結線	① 222.6N 以上 ② 133.5N 以上 ③ 89.0N 以上 ④ 57.9N 以上 ⑤ 35.6N 以上	○	－
	ロック強度	レバ一をレセプタクル側にロックした 状態で、かん合軸方向に98N(1分間) プラグ側に 引抜力を加える。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	－
注1 ①動作の保証できる範囲は人の活動できる温度としています。 ②使用温度範囲は通電による温度上昇も含みます。 ③適合ハウジングに結線した状態での値となります。					
注2. 梱包材は含みません。					
注3. ケーブルの導体抵抗は含みません。					
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考 上記規格値は適合コンタクトを組み込んだ、PQ50WA(2ユニット一体型)シリーズでの性能を示す。 その他のシリーズに使用する場合の性能については各シリーズでの性能とする。 試験規格の記載のない試験方法は、IEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を適用している。			承認	MN. KENJO	20190408
			検 図	TU. TANIGUCHI	20190407
			担 当	TY. MIURA	20190406
			製 図	TY. MIURA	20190406
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC-129675-00-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	PQ50WA-2UM-50S-PC1	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL236-2118-0-00	△ 1/3

性能					
	項目	試験方法	規格	QT	AT
機械的 性能	レバー操作力	レセプタクル側にレバーをロックする方向に力を加えた際のロック力。 及びレバーを解除する方向に力を加えた際のレバー解除力。	レバーロック力 : 205.8N max. レバーロック解除力 : 205.8N max.	○	—
	ケーブルクランプ力	ケーブルをクランプした状態でかん合軸方向に、98N(1分間) ケーブルに引抜力を加える。	①端子が保持されていること。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	繰返し動作	100 回の抜き差しを行う。	注3. ①端子接触抵抗変化量: 20 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10 ~ 55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 3 方向各 2 時間試験する。(付図2参照)	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 6 軸方向各 3 回試験する。	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
環境 性能	温度サイクル	温度 -55 → 15~35 → 105 → 15~35 °C 時間 30 → 2~3 → 30 → 2~3 分 を 5 サイクル試験する。	注3. ①端子接触抵抗変化量: 20 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐熱性	温度 105 °C±2°C 中 96 時間放置する。 (かん合放置)	注3. ①端子接触抵抗変化量: 20 mΩ以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -55°C±3°C 中 96 時間放置する。 (かん合放置)	注3. ①端子接触抵抗変化量: 20 mΩ以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐湿性	温度 60 °C±2°C, 湿度 90 ~ 95 %中に 96 時間放置する。 (かん合放置)	注3. ①端子接触抵抗変化量: 20 mΩ以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 (乾燥後) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	混合ガス	SO ₂ 10 ppm, H ₂ S 3 ppm, 湿度 70 ~ 80 % 中に 24 時間放置する。(かん合放置)	機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	—
	防塵・防適性	コネクタをかん合させ、直径1.0mmの検査用プローブが進入しないこと。また、機器に対し いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響のないこと。	IP65 以上	○	—

付 図

付図1. レバー操作力



注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目

図番

SLC-129675-00-00

HRS

製品規格表

製品名

PQ50WA-2UM-50S-PC1

ヒロセ電機株式会社

製品コード

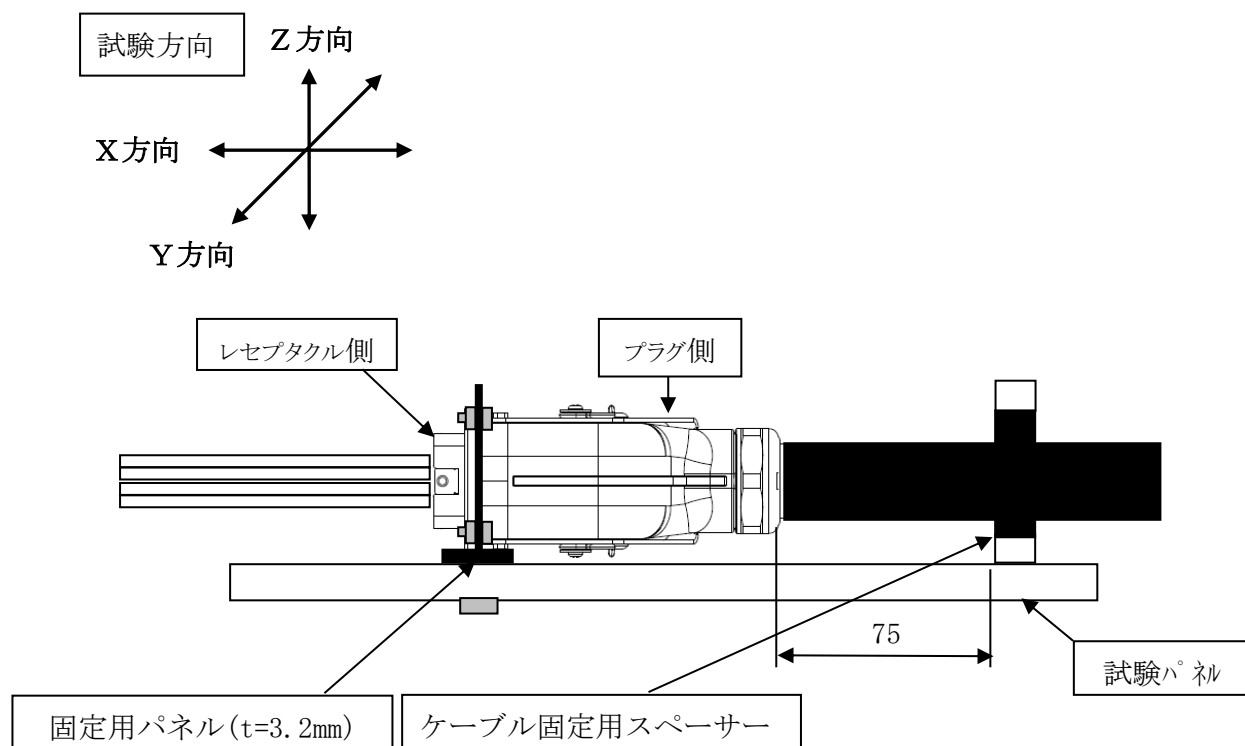
CL236-2118-0-00

△

2/3

付 図

付図 2. 振動試験方法概略図（側面）



注 QT:確認試験 AT:製品検査 O:適用項目		図番	SLC-129675-00-00		
HRS	製品規格表		製品名	PQ50WA-2UM-50S-PC1	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL236-2118-0-00	 3/3